



人として自立し、他者と共生していくための資質と能力を養う。

社会や文化を理解するための基盤となる「国語」を学び、自己表現を豊かにする言語能力を伸ばします。

自らの言語によって表現できる実践的な言語運用能力を身に付け、「国語」の授業力を養います。

教科としての「国語」を担うための教材研究能力・教材開発力を養います。



国語科教模擬授業風景



国文学演習授業風景



書道演習授業風景

4年間の学び

国語専修での学びは、国語教育学・国語学・国文学・漢文学・書写書道の各部門から成る学習領域の、全5領域で構成されています。1、2年次は、諸領域への入門となる科目をはじめ、基盤となる教養科目、また、主に小学校の教員になるために必要な全科目の素養などを広く身に付けます。学年を追うごとに、中学校の教員になるために必要な科目を履修するとともに、上記5領域の基礎的な科目から発展的な科目へと学習を進めます。発展的な科目については、2年次以降、各領域への関心に応じて、自らの専門性を高めるためにふさわしい科目を選んで履修します。また、2年次後半からは、研究すべきテーマをもって各領域の研究室に所属し、体系的な学習と並行して自らの研究を深めつつ、4年次には集大成としての卒業論文をまとめます。

取得できる免許

〔卒業要件に含める免許状〕

小学校教諭一種免許状
中学校教諭二種免許状(国語)

〔取得を優先して薦める免許状〕

中学校教諭一種免許状(国語)

〔所定の科目履修で取得可能とする免許状〕

高等学校教諭一種免許状(国語)
高等学校教諭一種免許状(書道)
◎幼稚園教諭二種免許状
◎特別支援学校教諭二種免許状

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

先輩Voice

学校教員養成課程 義務教育専攻 国語専修4年
愛知県立五条高等学校出身



新しい価値観や感動を
与えてくれる国語の魅力を、
子どもたちにもっと伝えていきたい。

国語の学習というと、文章を読んだり文法を学んだりというイメージが強いかもしれませんが、それだけではないことを体感しています。特に興味深かったのは、原作小説と映画化作品を比較する授業。文章ならではの表現と映像の持つ力を対比することで、全く新しい視点を得ることができました。ゼミでは現代作家の作品をテーマに議論を重ね、物語を多角的に捉える楽しさを実感。この専修で得た学びや発見を最大限に生かし、心や生活を豊かにしてくれる国語の魅力を子どもたちに伝えたいと思っています。

■ 2023年 2年次後期の時間割 (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等社会科教育法A		学校体験活動Ⅰ	中等国語科教育法C	学校教育におけるICT活用
2時限	初等音楽科教育法A		学校体験活動Ⅰ	書道演習B	
3時限		漢文学B	この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。	書道演習Ⅲ	
4時限		道德教育の理論と方法		国文学演習BⅠ	国語学演習AⅠ
5時限	キャリアデザインⅡ				

※上記時間割で示した授業科目以外に2年次前期の必須科目として遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「発達障害のある児童生徒理解基礎」や「外国人児童生徒支援教育」があります。